
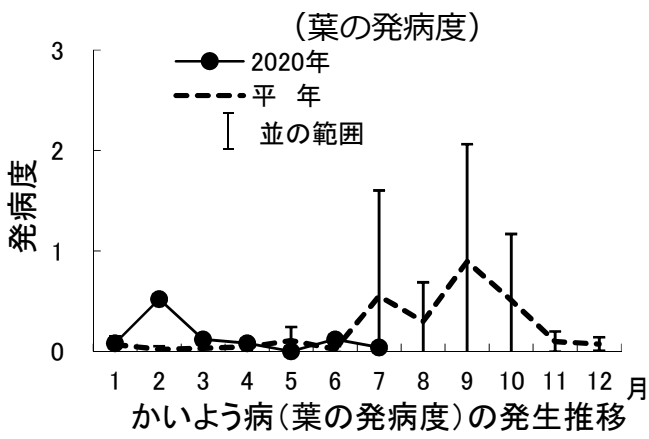
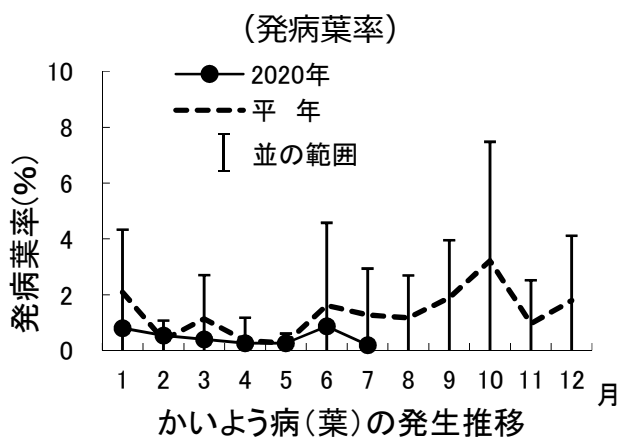
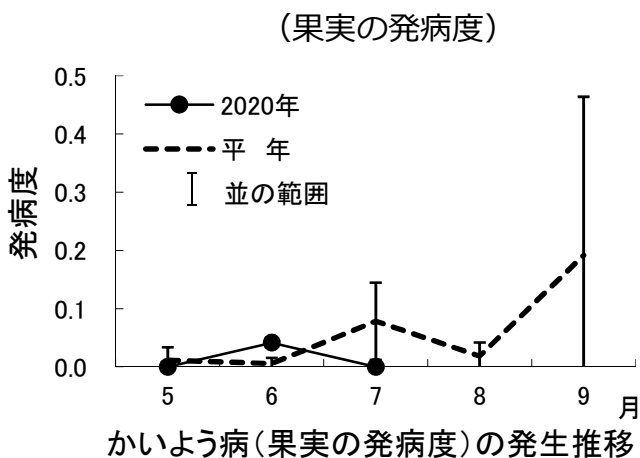
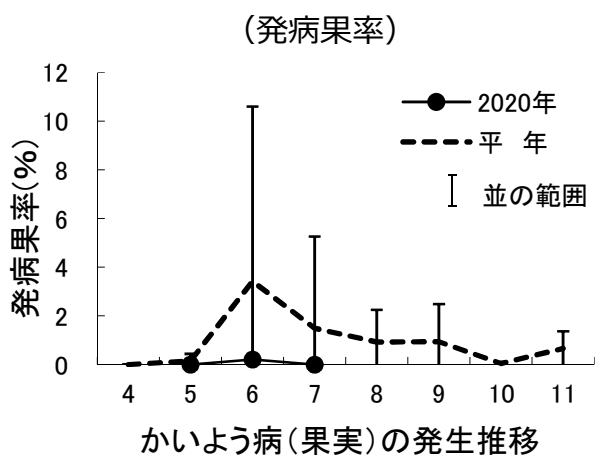



作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
調査結果	7 月の発生量（平年比）	(発生なし)並	
予報	7 月からの増減傾向	→	
	8 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	

調査結果



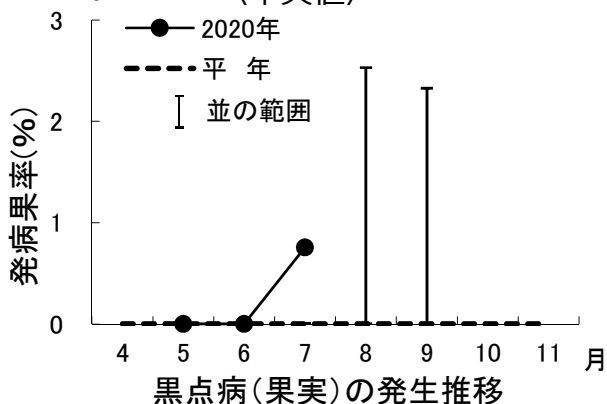
防除のポイント

- ・ 本病はミカンハモグリガによる食害痕から侵入しやすい。
- ・ 罹病枝、罹病葉を除去し、伝染源を極力少なくする。

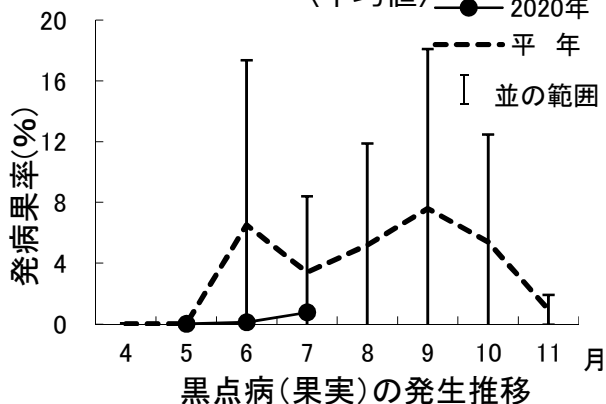
作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	② 黒点病		
調査結果	7 月の発生量（平年比）	やや多	
予報	7 月からの増減傾向	↗	
		8 月の発生量（平年比）	やや多
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）	

調査結果

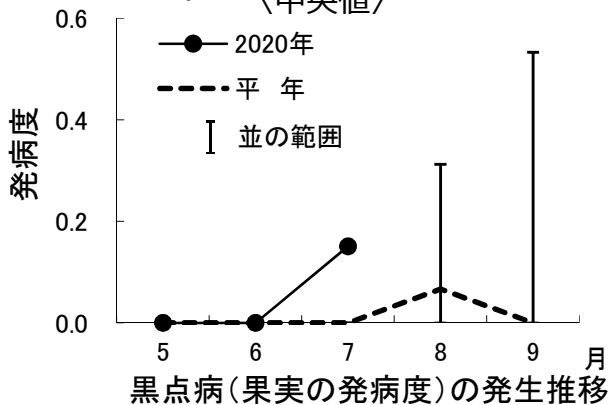
（発病果率） 〈中央値〉



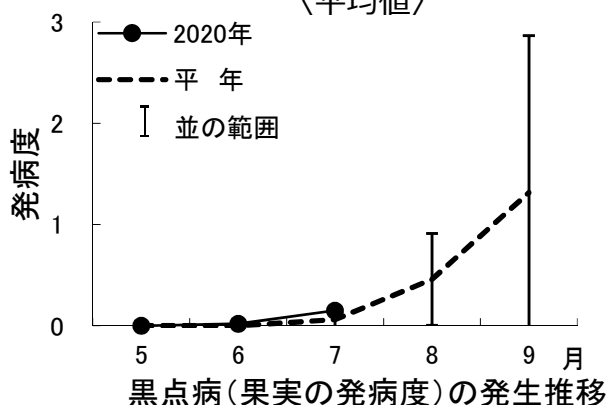
〈平均値〉



（果実の発病度） 〈中央値〉




〈平均値〉



・ 発生ほ場率：100%（平年値：22%）

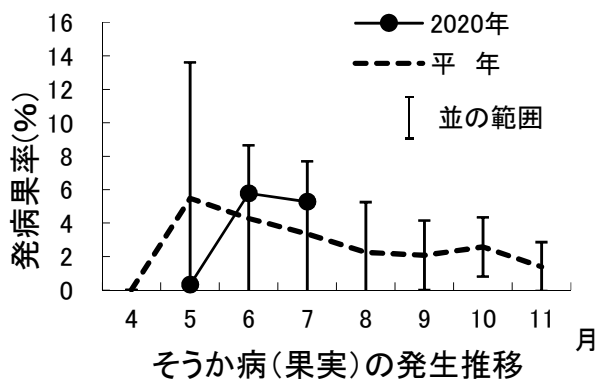
防除のポイント

- ・ 周辺の防風樹も含め、枯れ枝は除去する。
- ・ ほ場内の通風、採光を良くするために、間伐、せん定等の管理を徹底する。

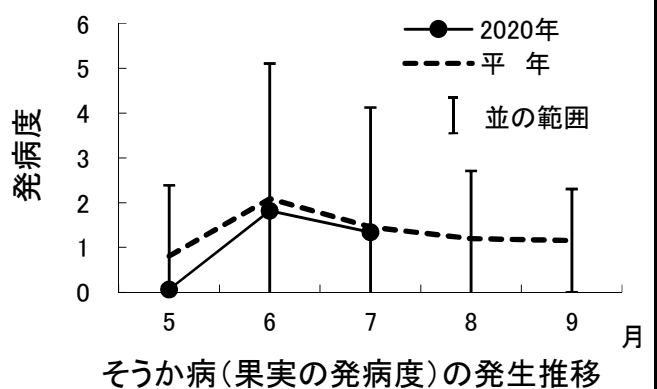
作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	③ そうか病		
調査結果	7 月の発生量（平年比）	並	
予報	7 月からの増減傾向	↘	
	8 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↘）	

調査結果

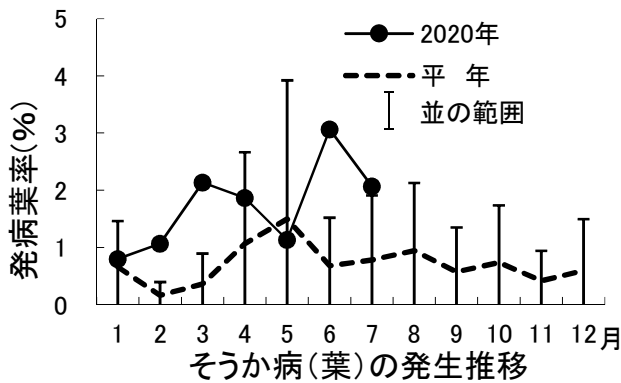
(発病果率)



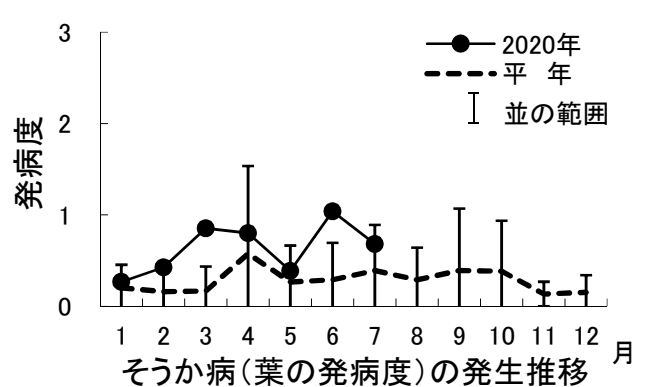
(果実の発病度)



(発病葉率)



(葉の発病度)




防除のポイント

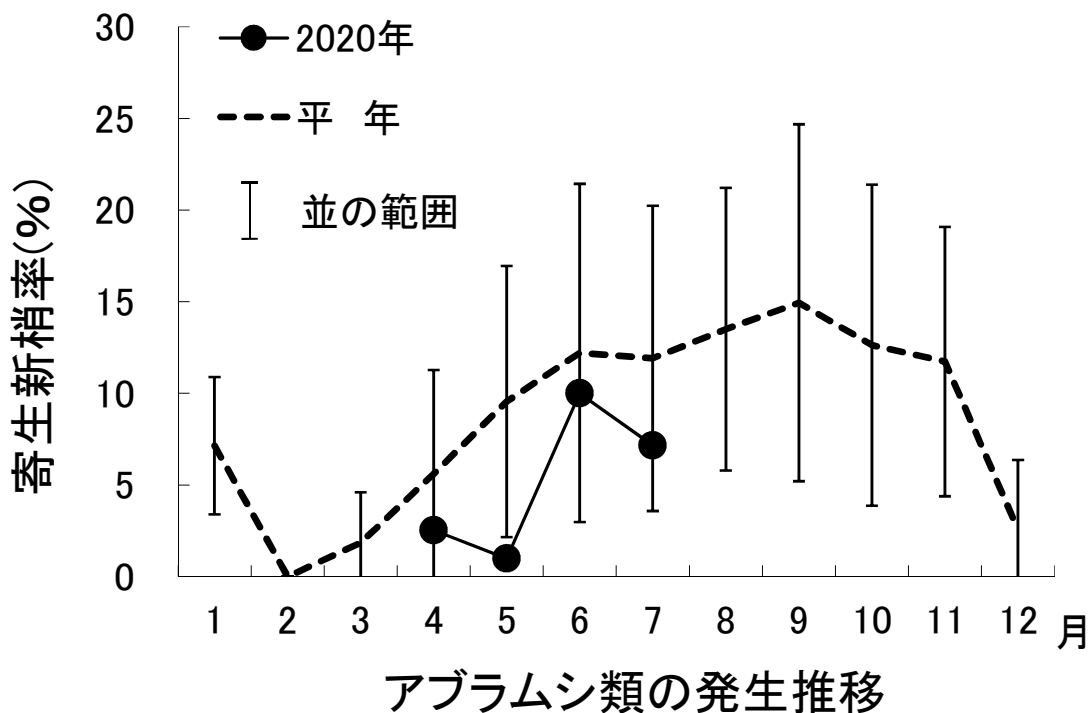
- 罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。

被害果→



作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	④ アブラムシ類		
調査結果	7 月の発生量（平年比）	並	
予報	7 月からの増減傾向	↗	
	8 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）	

調査結果




・ 発生ほ場率：100%（平年値：68%）

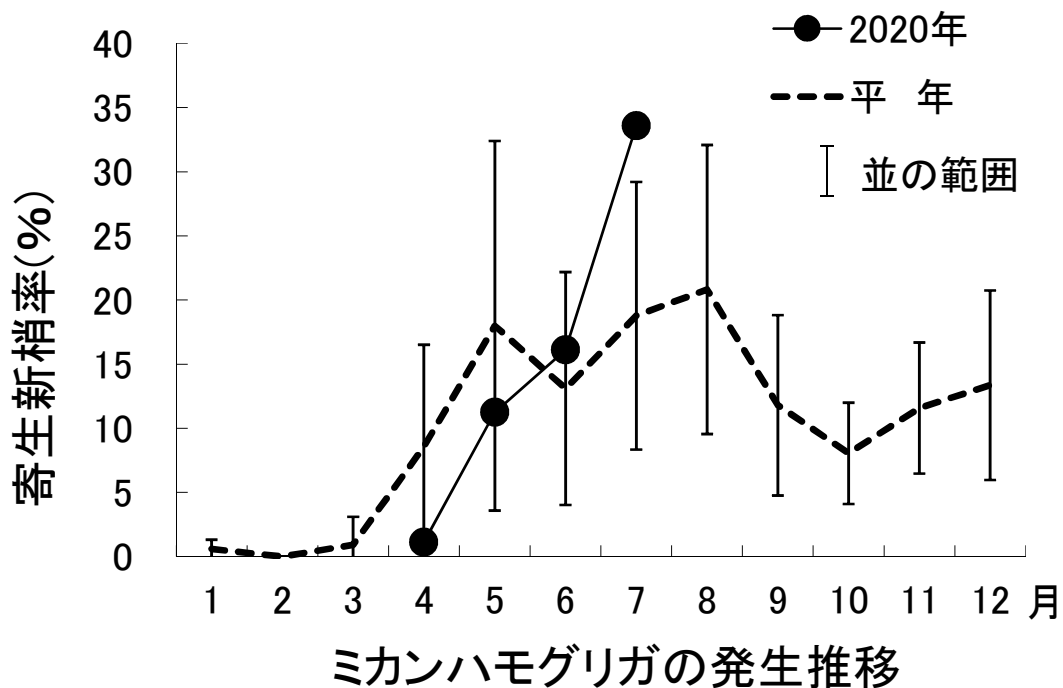
防除のポイント

- ・ テントウムシなどの天敵によって本種の増殖は抑えられるが、密度が高い場合には薬剤による防除を行う。
- ・ 新梢や新葉に寄生する。アリを探すことで、アブラムシの発見が容易になる。



作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	⑤ ミカンハモグリガ		
調査結果	7 月の発生量（平年比）	やや多	
予報	7 月からの増減傾向	↗	
	8 月の発生量（平年比）	やや多	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）	


調査結果



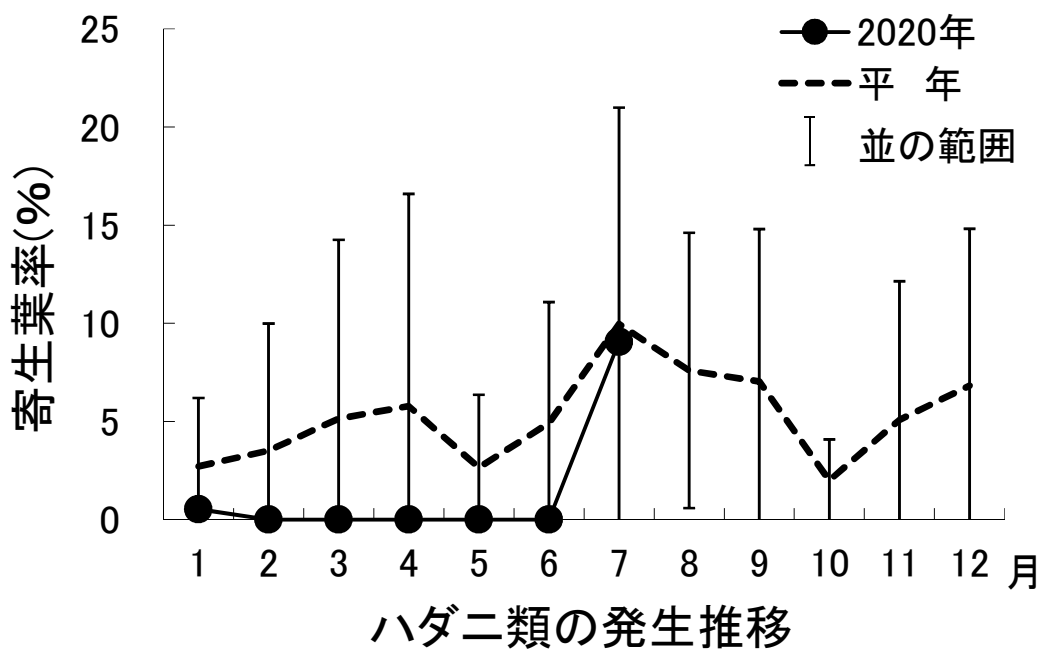
・ 発生ほ場率：100%（平年値：77.1%）

防除のポイント

- ・ 被害葉にかいよう病が発生しやすく、翌年の伝染源になるので除去に努める。
- ・ 被害が目立つ場合は薬剤による防除を行う。

作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	⑥ ハダニ類		
調査結果	7 月の発生量（平年比）	並	
予報	7 月からの増減傾向	↗	
	8 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		今後 1 か月の気温が平年より高い見込み	

調査結果



・ 発生ほ場率：20%（平年値：35%）

防除のポイント

・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状